

番号	回	カテゴリー	事前質問内容	回答
	1 8月	WEKO	個別登録では©(Copyright)などの環境依存文字が入力・表示できますが、一括登録ではCSVファイル上に©を記載しても、インポート後文字化けしてしまいます。環境依存文字をうまくインポートするための何かいい方法(裏技)があればご教授ください。	JAIRO Cloud上で利用可能な特殊記号は「UTF-8」(現行JAIRO Cloudでは4バイトを除く)で利用可能な文字及び記号となります。従って、それ以外の環境依存文字等は利用できません。コピーライトマークは UTF-8 にあるので https://unicd.net/char/00A9 利用可能です。
	2 8月	メタデータ	JPCOARE参加機関の中でも、メタデータに登録する情報は機関ごとにかなり異なりますが、今後利活用促進等の観点から統一基準などが今後できるのでしょうか。	現在、統一基準の策定は想定されておりませんが、引き続きコミュニティで何ができるか検討していければと考えています。
	3 8月	学認	学認ログインについて、JPCOAR側にに何らかの設定の依頼が必要なのか？	学認による認証については、学認認証システムから申請していただくことになります。 https://www.gakunin.jp/join
	4 8月	権利処理	SherpaRomeoを使って外国の出版社版論文の許諾を確認する際、リポジトリで公開可なのか条件付きなのか解釈に迷います。(英語力の問題だと思いますが) 機械的に「この表現なら出版社版登録可/不可」と判断できる手法があればご教示いただきたいです。	Sherpa/Romeoの情報は更新されていないことも多いのであくまで参考とし、ページ下部にある「For more information, please see the following links」欄から、オープンアクセスに関する情報やセルフアーカイビングに関する情報のリンクをクリックして出版社のサイト自体を確認した方がよいです。なお、出版社のサイトでは、登録可の場合は「can share」「can deposit」「can be placed on」などの表現が使われていることが多いようです。
	5 8月	DOI	・DOIの付与について(現在、WEKO3への移行とともにDOIの付与を検討しております。開始時に発生する作業、開始することによるメリットデメリット、作業にあたり気を付けなければいけないこと、必要な知識、過去の掲載論文にもDOIを付与すべきか等を確認したいです。)	・開始時に発生する作業: Jalcの会員になる必要があります。詳しくはこちらをご覧ください。 https://japanlinkcenter.org/top/admission/index.html#s001 ・メリット: ファイルへの永続的なリンクが保証されることにより、論文へのアクセスやリンク生成、また引用をしやすくなるなどが考えられます。 他にも、これまでの講習会での資料や、いろいろな観点があるかと思われるので、コミュニティ内で情報交換していただけるとよいかと存じます。
	6 8月	WEKO	・著者IDについて(本学では過去より、登録のたびに新たなIDが生まれていますが、本来は同じ著者であれば同じIDとするのがベストなのでしょうか。その作業・管理にはどのくらいの手間がかかるのでしょうか。また、過去の掲載論文情報も修正可能であれば修正したほうが良いでしょうか。過去より業務簡略化のため上記のようにしていると聞いているのですが、少ない手間であれば同じ著者は同じIDのほうが良いのかも考えております。)	各機関の考え方や運用方法により様々なケースがある事案かと思われますので、コミュニティ内で情報交換していただけるとよいかと存じます。
	7 8月	その他	機関リポジトリに「ファイルなし・リンクなし・メタデータのみ」というものが多数登録されているのですが、これは何の意味があるのかご教示ください。	各機関でのご判断による部分が大きいかと存じますが、機関の研究成果を全てリポジトリに登録して一覧性を高めるという運用をしている機関もあるようです。
	8 8月	DOI	公開論文にDOIを付けている場合、著作権侵害などで一旦公開停止(そのまま公開中止の可能性もあり)を求められた際にどういった処理を行いますか。	ケースによって対応は異なってくるかと思われますが、DOIは取り下げておき、公開を再開する場合には新規に取得するという対応は考えられるかと存じます。
	9 8月	その他	IRDBデータ提供機関です。登録データによってIRDBに登録されているデータと登録されていないデータがあるが、なぜでしょうか。	メタデータに不備があるとハーベストされず、IRDBに登録されません。この場合は、メタデータの確認が必要です。
	10 8月	DOI	研究データへのDOIの付与についてJaLC DOIとDataCite DOIが考えられますが、DataCite DOIが有料の見直しになったので、研究データへのDOI付与という観点でのそれぞれのメリット、デメリットを教えてください。	DateCite DOIについては、研究データにおいて先駆的に付与されているDOIなため、国際流通性がより高まる可能性があるところがメリットと考えられるかと存じます。
	11 8月	権利処理	研究データ(論文の図表の元データ)の著作権の考え方を教えてください。	こちらの記事などを参考にされるとよいかもかもしれません。 https://current.ndl.go.jp/e2250
	12 8月	DOI	研究データ(論文の図表の元データ)へのDOI付与は著者最終稿と同様に共著者それぞれの機関でのDOI付与が推奨されるのでしょうか？	Jalcが公開している「研究データへのDOI登録ガイドライン(https://www.japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_tech_rd_guideline_ja.pdf)」によれば、複数機関で研究データへのDOIを付与する際の考え方は以下の通りとのことです。 「研究データの場合は特に、データ作成に複数機関が関わっていたり、登録したデータリポジトリの運用ルールにより新たにDOIが登録されてしまったりなどの事情により、同一の研究データに複数の DOI が登録されてしまうことが発生しうる。その際は、それぞれのデータ提供者同士連絡がとれており、互いに DOI 登録状況を把握していることが望ましい。さらに、メタデータには、別の DOI が登録されている同一の研究データが他に存在していることを、関連情報(relation_list)に記述するのがよい。」
	13 8月	DOI	紀要論文等へのDOIの付与を検討しております。導入にあたり、注意すべき点などご教示いただけましたら幸いです。	・開始時に発生する作業: Jalcの会員になる必要があります。詳しくはこちらをご覧ください。 https://japanlinkcenter.org/top/admission/index.html#s001 ・メリット: ファイルへの永続的なリンクが保証されることにより、論文へのアクセスやリンク生成、また引用をしやすくなるなどが考えられます。 他にも、これまでの講習会での資料や、いろいろな観点があるかと思われるので、コミュニティ内で情報交換していただけるとよいかと存じます。
	14 8月	権利処理	雑誌等の著作権許諾ポリシーの中で、「機関のWebサイトへの掲載可能」と記載している場合と、「機関リポジトリへの掲載可能」と記載している場合がありますが、「機関のWebサイトへの掲載可能」の場合でも機関リポジトリへの掲載は可能と考えてよいのでしょうか。	問題ないと思われます。
	15 8月	権利処理	学会ポリシーdateの、海外の学会誌版のようなまとめのシートは作られているでしょうか、また共有されていますか	海外の学会誌のポリシーは、学会によってはSherpa/Romeoに載っているものもありますが、体系的にまとめられたものは現在存在しないと思われます。
	16 8月	メタデータ	メタデータの必須項目は何ですか。	以下のサイトなどをご覧くださいのがよいかと存じます。 メタデータ流通ガイドライン https://ndlsearch.ndl.go.jp/guideline
	17 8月	研究データ登録	研究データが提出された場合の、メタデータの作成方法について(これまで、タイトル、著者などがはっきりしている文献を登録してきたが、研究ノートのようなものを登録する場合にはどの情報源をとり、メタデータを作成すべきかアドバイスを頂きたい)	以下のサイトなどをご覧くださいのがよいかと存じます。 メタデータ流通ガイドライン: 研究データ編 https://ndlsearch.ndl.go.jp/guideline/researchdata
	18 8月	研究データ登録	研究データ管理にあたり、データリポジトリとして、既存の機関(文献)リポジトリと分けて整備した方がよいかどうか	それぞれの大学のご事情に合わせて考えることになるかと思われるので、コミュニティ内で情報交換していただけるとよいかと存じます。
	19 8月	メタデータ	最低限必要な知識、登録箇所が知りたいです。	以下のサイトなどをご覧くださいのがよいかと存じます。 メタデータ流通ガイドライン https://ndlsearch.ndl.go.jp/guideline